DataCube2 運用ガイド

「DataCube2」（データキューブ2）は専用の小型端末を使用した計測システムです。この運用ガイドでは、DataCube2の基本的な使い方や代表的な機能の設定方法について説明しています。

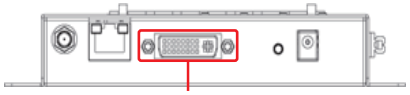
●DataCube2の電源のON/OFF方法

電源ケーブルを接続するとDataCube2が起動します。（POWランプが点灯します。）起動後、システムのウォームアップが開始されます。
※計測が開始されるまでには30秒前後かかります。

●PR画面の種類・表示秒数について

続く▶

DataCube2とディスプレイをDVIケーブルで接続するとPR画面が表示されます。モニタ、グラフ、写真、掲示板の4種類の画面を搭載しており、各画面10秒（初期設定時）で切り替わります。

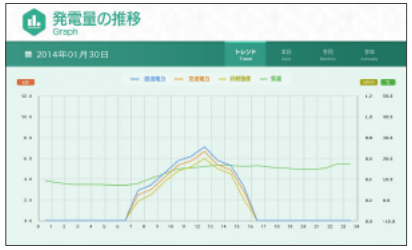


※出荷時掲示板は非表示設定となっています。
※各画面の設定はWeb画面から行うことができます。（Web画面の操作を行うには別途PC、LANケーブルが必要です。詳しくは取扱説明書をご覧ください。）

モニタ

現在の発電状況を表示します。
※「日射強度」「外気温度」は日射計・気温計が未設置の場合は表示されません

グラフ



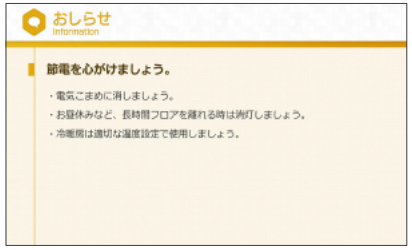
発電状況の推移を表示します。
※「日射強度」「気温」は日射計・気温計が未設置の場合は表示されません

▶

写真

設定した画像を表示します。

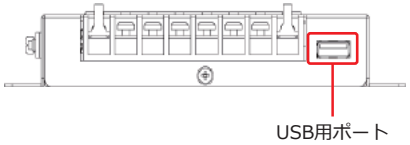
掲示板



設定したテキスト情報を表示します。
※出荷時は非表示設定

●計測データの保存（USB自動保存）

DataCube2本体にUSBメモリを接続しておくと、毎日深夜3時5分に前日の1分値データがCSV形式で自動保存されます。



❶USBメモリをDataCube2本体のポートに接続してください。
USBメモリは、セキュリティーの制御がかかっていない状態の容量4GB以上（付属品推奨）のものをご使用ください。

❷1分値データファイルはUSBメモリ直下の**data**フォルダ内に自動保存されます。
※同時刻に前日までの日報・月報・年報のデータファイルもUSBメモリ直下の**report**フォルダ内に自動保存されます。

※データは以下のフォーマットで保存されます。
1分値データ／dataYYYYMMDD.csv
(YYYYMMDDは前日の日付が入ります)
日報データ／dayYYYYMMDD.csv
(YYYYMMDDは前日の日付が入ります)
月報データ／dataYYYYMM.csv
(YYYYMMは前日の日付が入ります)
年報データ／dayYYYY.csv
(YYYYは前日の日付が入ります)

point

USBメモリは、常にDataCube2に接続した状態で運用してください。
本体内には最大2ヶ月分のデータを蓄積できます。上限を過ぎると古い日時のデータから順に削除されます。

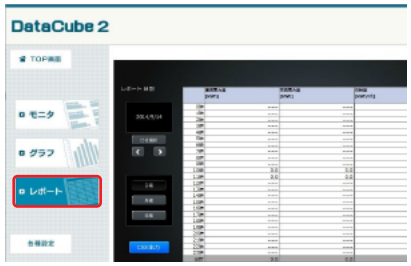
※USBメモリを取り外していた場合
USBメモリを本体に接続し直すと、深夜のデータ保存時に本体内のデータとUSBメモリ内のデータを照合し、自動的にメモリ内に未保存のデータが補完されます。

※以下のタイミングでUSBメモリの抜き挿しは行わないでください。
①USBメモリのランプ点灯（点滅）時
②深夜のデータ保存時
※頻繁な抜き挿しは誤作動の原因となります。

●計測データ（CSV出力）の抽出

※操作には別途PC・LANケーブルが必要です。

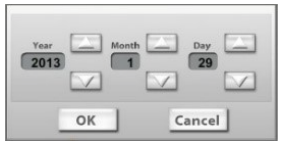
各計測値を帳票形式で表示する画面です。Web画面のサイドメニューから「レポート」をクリックすると表示されます。
（Web画面の閲覧方法については取扱説明書をご覧ください。）



日付選択ボタン

…左右ボタンをクリックすると、一日ずつ移動します。

…クリックするとダイアログが表示されます。



▲▼ボタンで履歴を表示したい期間を設定し、OKボタンをクリックしてください。

レポート切替えボタン

…各ボタンをクリックすると対象のレポートが表示されます。
・日報…1日のレポート
・月報…1ヶ月のレポート
・年報…1年のレポート

CSV出力ボタン

…レポート表示している計測内容をCSV形式データでPCに保存します。

●取扱説明書の閲覧方法

より詳しい使い方はDataCube2の取扱説明書をご覧ください。弊社ホームページからご覧いただけます。

▼資料ダウンロードページ
http://www.f-logic.jp/support/download.html

? お問い合わせ

弊社カスタマーサービスが本製品の操作に関するご質問・ご相談にお答えします。

カスタマーサービス

☎06-6446-2110

受付時間 9:00～18:00

※土日、祝日に頂いたお問い合わせに関しましては、翌営業日に担当者より順次ご連絡致します。

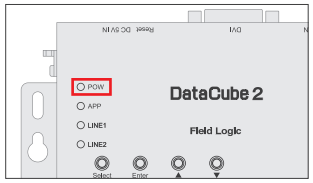
DataCube2 日常点検表

本点検表はDataCube2をご利用のお客様向けに、日常運用上での簡易点検項目を記したものです。

1 本体の電源がONになっているか

check▶ ☑

➡DataCube2本体のPOWランプが緑色に点灯していることを確認してください。OFFになっている場合は、ACアダプタが本体及び電源コンセントに接続されているかご確認ください。



2 アラートが表示されていないか

check▶ ☑

➡計測に異常があると、PR画面にアラートが表示されます。

状態	アラート表示方式※	内容
一部欠測	暗示的表示（初期設定） 明示的表示	一部の計測項目のデータが正常に取得できていない状態
全欠測	暗示的表示（初期設定） 明示的表示	全ての計測項目のデータが正常に取得できていない状態
故障	暗示的表示（初期設定） 明示的表示	故障信号を受信している状態

以下の内容を確認し、3へ進んでください。
- DataCube2との配線の確認（線が外れていないか）
- 可能であれば、RS485信号線が断線していないか・PCSと正常に接続できているかご確認ください。

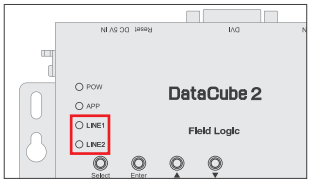
※アラートの表示方式はWeb画面から変更可能です。
設定方法について詳しくは取扱説明書をご確認ください。

3 RS485信号 送受信確認

check▶ ☑

➡使用しているLINEのランプが**点滅**することを確認してください。

ランプが点滅しない場合
RS485信号線とPCSの接続や、機番号の設定が正しくなされているかの確認方法について、弊社カスタマーサービスにお問い合わせください。



4 時刻補正

check▶ ☑

➡初回計測時や長期間の電源断後は、正しい時刻に設定されているかを確認してください。
※DataCube2の電源を入れずに長期間経過した場合、時刻がずれることがあります。

時刻の設定方法

❶**Web画面**※を表示します。

❷左のメニューから「各種設定」をクリックしてください。

❸基本設定の「時刻」をクリックしてください。

※Web画面の閲覧には別途ノートPCとLANケーブルが必要です。
詳しくは取扱説明書をご覧ください。

※ノートPC、LANケーブルをお持ちでない場合、DVI出力画面上からも時刻の設定が可能です。詳しくは取扱説明書をご覧ください。

❹時刻を確認してください。
訂正する場合は正しい時刻を入力してください。

❺「保存」ボタンをクリックしてください。

5 雷ガードのランプが消えていないか

check▶ ☑

➡大型ディスプレイなどの表示機器をご使用の場合、電源に接続している雷ガードのランプが点灯していることをご確認ください。ランプが点灯しない場合は同等品※との交換を推奨しております。
※最大サージ電圧4500V、バリスタ電圧240V

? お問い合わせは弊社カスタマーサービスまで：☎06-6446-2110

本製品の操作に関するご質問・ご相談にお答えします。**受付時間 9:00～18:00**
※土日、祝日に頂いたお問い合わせに関しましては、翌営業日に担当者より順次ご連絡致します。